

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスすだっち すだっちイースト		公表日		2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	5	・法定内の広さは確保できている。 ・活動の内容によって、1階と2階とで使い分けをしている。	・担当児童が1階と2階に分かれた場合、職員配置に留意している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	・国のガイドラインに沿った職員配置をしている ・利用する児童の人数、個別対応が必要な児童の人数に合わせて、職員配置をしている。	・担当児童だけでなく、児童の1グループ毎に必ず職員が付き添い、責任をもって目を向けている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	3	・玄関前は、取り外しの可能なスロープを用意している。 ・1日のスケジュールを絵カード等を使用し、視覚的に分かりやすくしている。	・急な階段、狭いトイレなど構造上の問題箇所もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	3	・児童を各自宅へ送った後、毎日清掃等により環境整備に努めている。また、児童の活動に応じて1階と2階に分かれるなどして対応している。	・児童の成長に伴う体格の変化や、利用している児童達の様子を見ながら、その都度家具の配置の変更を行ったりしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	・通常は1階（すだっち）または2階（イースト）の部屋で過ごすことが多いが、必要に応じて2階（すだっち）または1階（イースト）の個室を使用することができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	1	・事業所内の全体会議や毎日の業務開始前と終了後の打ち合わせで、申し送り事項に抜けが無いよう振り返りで周知している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	2	・調査結果は職員全員に周知しており、業務改善すべきことは改善できるように努めている。 ・業務開始前及び終了後の打ち合わせ時に保護者からの要望等があれば、必ず申し送るようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	・毎月1回、職員全体の会議を開催しており、職員の意見等を把握する機会を設定している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	12	・理事会で協議している。	・第三者評価は実施していない。 ・今後の課題である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	・事業所内で虐待防止・感染予防対策・療育等の研修を定期的に行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0	・事業所内会議を実施し、職員間で共有しており、ホームページ等で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	0	・6ヶ月毎に各児童のモニタリングを実施し、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	・6ヶ月毎に各児童のモニタリングを実施し、職員が共通理解の下で児童の最善の利益を考慮した個別支援計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0	・事業所内会議を実施し共有している。 ・日々の活動の中で出された意見も記録している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	1	・個人ファイルの中に情報を記入している。 ・日々の活動の様子等を、観察しながら支援にあたっている	・標準化されたアセスメントツールの総合的な活用が課題である
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	・個別支援計画については、ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の支援内容を踏まえながら、児童の支援に必要な項目を適切に設定した上で、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0	・担当職員を中心に全職員で考えている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	1	・担当職員を中心に考えている。 ・他の事業所の良いところを取り入れている。	・立案・工夫はなされているが、それが十分なかどうかは検討する必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	・集団活動になじめない児童は、別室を活用し、個別プログラムを行っている	・集団が苦手な児童にも、少人数から関わりが持てるように配慮していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	・毎日、支援開始前に打ち合わせをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	・毎日、必ず行っており、その場の雰囲気作りにも気を付けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	・毎日の個別の支援記録を徹底し、支援の検証・改善に努めており、また保護者への連絡帳の記入を徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0	・事業所内会議で6ヶ月毎に各児童のモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	16	0	・自立支援、創作活動、地域活動余暇などの支援を集団・個別にて行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	1	・児童が通所時に、当日の活動について複数の提案をしたうえで、児童に選択させている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	2	・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	3	・てんかん発作がある利用者には、事前に保護者より聞き取りをし、対処している。	・連携が不足している事例もあるので、改善していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16	0	・学校との情報共有及び連絡調整ができるように、日頃からコミュニケーションを図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	5	・相談員を通して連携が図れるようにしている。	・必要に応じて情報共有に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	4	・必要に応じて行っており、施設等の見学もしている。	・依頼・要請があれば提供する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	5	・必要であれば連携を図っていく。	・専門機関と今後も連携し、現在の該当児童以外にも対象児童となりうる事例をもとに、連携、助言、研修を継続していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	4	・パラスポーツや子ども食堂に参加し、地域の子どもたちと交流を図っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	9	・定例協議会の会議録（HP）は毎年確認している。	・情報交換の場があれば積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	・送迎時や連絡帳等で情報を共有している。	・SNS等を今後も活用していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	5	・ペアレントトレーニングまでは行えていないが、子育ての支援や児童の日常の出来事など、関わり方は、都度、共有させていただいている。	・情報交換の場や研修があれば参加していきたい。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	2	・児童発達支援管理責任者が契約の際に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0	・6ヶ月毎に各児童の個別支援計画を見直しの際に、児童及び保護者に対する面談時に具体的な支援内容について、その意向を確認するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16	0	・6ヶ月毎に各児童の個別支援計画を見直しの際に、児童及び保護者に対する面談時に具体的な支援内容について同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	・児童についての保護者からの相談事は、全職員で話し合い職員間の共通理解を行っている。	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	5	・イベント等に参加してもらうことで交流が図れている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	1	・個別の意見をもとに体制を整備し、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0	・毎月のすだっち通信を配布しているほか、SNSを活用し日頃の様子や最新の情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	・情報ファイルは鍵付きの保管庫にて管理し、保護者との契約時に個人情報の取扱いについての確認、職員とは個人情報の取扱いに関する契約書を交わし対応している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	・児童にはわかりやすい声掛けや情報の視覚化を心がけ、保護者には送迎時や連絡帳で日々の様子を伝えている。	・取り組みはしているが不十分なところもあり、今後も研修等に参加し、保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮に努める。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	5	・ワーカーズコープ主催の「もちつき」や「サンアビ祭り」等への参加の声をかけている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	・定期的に訓練等を実施しており、すだっち通信でのお知らせや実際の訓練の様子を公式SNSに掲載して保護者に閲覧してもらっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	・定期的に年に2回の火災による避難訓練と地震による避難訓練、防犯に関する訓練を消防署、警察署の協力のもと実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	0	・服薬、予防接種及びてんかん発作等について、児童の状況を事前に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	・保護者からの情報をもとに適切に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0	・各年度当初に安全計画の見直しを行い、事業所内の職員全体会議において、安全管理に必要な研修を実施している。また、年間を通じて必要な訓練等を計画的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0	・安全計画及び安全に関する取組の内容について、玄関ホールへの掲示や、定期的な通信等により周知を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	・ヒヤリハット報告書を作成し、全員に周知している。また、定期的に事業所内全体会議でヒヤリハットの事例検討会を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	・事業所内にて定期的に虐待防止委員会を開催し、事例検討会を行っている。また、虐待防止委員会だけでなく、事業所内全体会議の際に、全職員に周知するよう定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16	0	・個別支援計画に活動時や移動の際に限定した身体拘束の旨を記載し、保護者から同意書を得ている。	